

## 令和2年度事業報告書

### 1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

### 2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

### 3. 基本財産

391,058,199円

### 4. 役員（令和3年3月31日現在）

役職	氏名	所属団体等
理事長	堀 憲 郎	(公社)日本歯科医師会会長
副理事長	濱 田 和 生	サンスター(株)代表取締役会長
副理事長	佐 藤 保	(公社)日本歯科医師会副会長
専務理事	蓮 池 芳 浩	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	小 玉 剛	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	小 山 茂 幸	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	尾 松 素 樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	川原田 哲 也	サンスター(株)Corporate Management 上級執行役員
理 事	芦 谷 浩 明	(株)ロッテ中央研究所上席執行役員所長
理 事	福 田 雅 臣	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座教授
理 事	鳥 山 佳 則	東京歯科大学短期大学学長
理 事	飯 島 勝 矢	東京大学高齢社会総合研究機構教授
理 事	岡 野 知 道	ライオン(株)執行役員・生産技術研究本部長
理 事	谷 征 大	(株)ロッテ ロッテノバージョン本部中央研究所チューニング研究部部長
理 事	湯 浅 徹	サンスター(株)研究開発本部学術情報部担当部長渉外
理 事	川 本 強	(一社)日本学校歯科医会会長
理 事	武 井 典 子	(公社)日本歯科衛生士会会長
理 事	森 田 晴 夫	(一社)日本歯科商工協会会長
理 事	住 友 雅 人	日本歯科医学会会長
理 事	山 本 秀 樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
理 事	上 野 尚 雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理 事	恒 石 美登里	日本歯科総合研究機構主任研究員
監 事	長 尾 博 通	(公社)日本歯科医師会監事
監 事	平 田 幸 夫	神奈川歯科大学名誉教授

## 5. 評議員 (令和3年3月31日現在)

氏名	所属団体等
藤原元幸	(一社)秋田県歯科医師会会長
松井克之	(公社)神奈川県歯科医師会会長
伊藤正明	(一社)長野県歯科医師会会長
澤田隆	(一社)兵庫県歯科医師会会長
甲野峰基	(一社)広島県歯科医師会会長
宮口巖	(一社)長崎県歯科医師会会長
杉岡範明	(公社)日本歯科技工士会会長
齋藤秀子	(一社)日本学校歯科医会副会長
宮内啓友	(一社)日本歯科商工協会副会長
渡邊浩次	サンスター(株)営業本部プロケアチャンネル営業統括部長
満武純	ライオン歯科材(株)代表取締役
川治久邦	パナソニック(株)アプライアンス社ビューティ・パーソナルケア事業部商品企画部長
岡林一登	(株)ロッテ広報部部長
鏝溝和子	(公社)母子保健推進会議常務理事
三橋裕行	(一社)日本家族計画協会専務理事
安藤孝	(公財)母子衛生研究会常務理事
迫和子	(公社)日本栄養士会前専務理事
上谷律子	(一財)日本食生活協会前会長
多田羅浩三	(一財)日本公衆衛生協会名誉会長

## 6. 事務局

職員4名 嘱託2名

## 7. 賛助会員

(令和3年3月31日現在)

A会員(歯科医師会) ..... 251 歯科医師会

日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、市区町村歯科医師会(203)

B会員(団体・会社) ..... 37 団体・会社

○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(13 団体)

○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、パナソニック(株)、(株)ロッテ、昭和薬品化工(株)、デンタルプロ(株)、アサヒプリテック(株) 他(25 社)

C会員(個人) ..... 230名

○歯科医師(118名)

○歯科医師以外の個人(112名)

## 8. 会 議

### (1) 理事会

#### ① 第4回理事会（書面による決議）

令和2年5月27日、理事及び監事に対し議案を送付し、全理事より同意書、監事より確認書を受理した。

#### 1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

##### 第1号議案 第18回評議員会の開催について

公益財団法人8020推進財団 第18回 評議員会議事次第			
開催日時	令和2年6月19日（金）午前11時～12時		
開催場所	歯科医師会館 1階大会議室		
1. 開会の辞	副理事長	佐藤	保
2. 議長の選出			
3. 議事録署名人の選任			
4. 挨拶	理事長	堀	憲郎
5. 報告	専務理事	蓮池	芳浩
①会務報告			
②その他			
6. 議 事			
第1号議案	理事辞任に伴う後任理事の選任の件		
第2号議案	令和元年度事業報告及び収支決算の件		
7. 協 議			
第18回フォーラム8020について			
8. 閉会の辞	専務理事	蓮池	芳浩

##### 第2号議案 令和元年度事業報告及び収支決算について

#### 2. 1の事項の提案をした理事

理 事 堀 憲郎

#### 3. 理事会の決議があったものとみなされた日

令和2年5月27日

#### 4. 本議事録の作成に係る職務を行った理事

公益財団法人8020推進財団 理事長 堀 憲郎

#### ② 第5回理事会

日 時：令和2年6月19日（金）午後10時30分～同10時50分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館1階大会議室

出席者：出席理事数19名、出席監事数2名

(出席した理事)

堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、蓮池芳浩、小玉 剛、川原田哲也、小山茂幸、尾松素樹、福田雅臣、鳥山佳則、芦谷浩明、岡野知道、湯浅 徹、川本 強、武井典子、住友雅人、山本秀樹、上野尚雄、山本美登里

(出席した監事) 長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席理事数3名

(欠席した理事) 飯島勝矢、井上なつき、森田晴夫

議 長：堀 憲郎 (公益財団法人8020推進財団理事長)

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

蓮池専務理事より、理事総数22名のうち過半数の19名の出席を受け、定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしている旨の報告がなされ、議長が開催を宣した。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保
2. 挨拶 理 事 長 堀 憲 郎  
堀理事長より本財団の現況報告を兼ねた挨拶がなされた。

### 3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

#### (1) 書面による決議に関する報告

蓮池専務理事より、令和2年5月18日付財団発第12号にて実施した書面決議(第4回理事会)において、提案された以下の議案が全て可決承認された旨の報告がなされた。(理事会決議があったものとみなされた日：令和2年5月27日)

- ①第18回評議員会の開催について
- ②令和元年度事業報告及び収支決算について

#### (2) 会務報告

蓮池専務理事より、会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。

- ①監事会の開催、②第4回理事会の開催、③理事長賞の贈呈、④8020研究事業公募、⑤歯科保健助成事業募集、⑥8020運動ポスター募集、⑦調査研究事業、⑧第18回フォーラム8020、⑨歯科保健事業報告会・公募研究発表会、⑩啓発小冊子の作成、⑪ホームページの充実

#### (3) 第18回評議員会の運営について

第4回理事会(書面決議)にて承認された本日開催の第18回評議員会の議案について、資料をもとに評議員会における説明内容の確認を行った。

蓮池専務理事より、第1号議案「理事辞任に伴う後任理事の選任の件」について、それぞれ資料に基づき説明がなされた。

続いて、第2号議案「令和元年度事業報告及び収支決算の件」について、事業報告は蓮池専務理事より、決算報告は小玉常務理事より、監査報告は長尾常務監事より資料に基づき説明がなされた。

#### 4. 協 議

##### (1) 第18回フォーラム8020について

蓮池専務理事より、第18回フォーラム8020について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

#### 5. 閉会の辞

専務理事 蓮池芳浩

##### 議事録署名人

理事長 堀 憲郎

監事 長尾博通

監事 平田幸夫

### ③ 第6回理事会

日 時：令和2年10月8日（木）午前11時～同11時40分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者：出席理事数20名、出席監事数1名

(出席した理事)

堀 憲郎、佐藤 保、蓮池芳浩、小玉 剛、尾松素樹、小山茂幸、住友雅人、  
山本秀樹、山本美登里

(Web会議により出席した理事)

濱田和生、川原田哲也、芦谷浩明、福田雅臣、鳥山佳則、岡野知道、谷 征大、  
湯浅 徹、川本 強、森田晴夫、上野尚雄

(出席した監事) 長尾博通

(決議事項に特別の利害関係を有する理事)

第1号議案について 佐藤 保、小玉 剛、山本秀樹

欠席者：欠席理事数2名、欠席監事数1名

(欠席した理事) 飯島勝矢、武井典子

(欠席した監事) 平田幸夫

議 長：堀 憲郎（公益財団法人8020推進財団理事長）

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で蓮池専務理事が理事総数22名のうち過半数の20名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号の括弧書きを根拠としたWeb会議で開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

#### 1. 開会の辞

副理事長 佐藤 保

#### 2. 挨拶

理事長 堀 憲郎

堀理事長より本財団の現況報告を兼ねた挨拶がなされた。

### 3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

#### (1) 会務報告

議長の求めに応じ、蓮池専務理事より会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。

①第5回理事会の開催、②第18回評議員会の開催、③令和2年度歯科保健事業報告会・公募研究発表会、④8020運動ポスター募集、⑤第18回フォーラム8020、⑥理事長賞の贈呈、⑦ホームページの充実、⑧都道府県歯科保健条例の制定状況、⑨噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑩ロゴマークの普及事業、⑪歯科保健助成事業募集および8020公募研究事業、⑫調査研究事業

続いて、小玉常務理事より、会計関係について報告がなされた。

#### (2) その他

佐藤副理事長より、当財団における新型コロナウイルス感染者の発生について報告がなされた。

### 4. 議 事

#### 第1号議案 令和2年度歯科保健活動事業の採択及び助成額について

蓮池専務理事より、地域歯科保健活動への助成事業として地域保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき令和2年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされた。次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

なお、審議対象の岩手県歯科医師会の会長である佐藤常務理事、東京都東久留米市歯科医師会の副会長である小玉常務理事、東京都立川市歯科医師会の顧問である山本理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

#### 第2号議案 令和2年度公募研究課題の採択及び助成額について

佐藤副理事長より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき令和2年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされた。次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

### 5. 協 議

#### (1) 公募研究課題の見直しについて

佐藤副理事長理事より、公募研究課題の見直しについて説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

#### (2) その他

な し

### 6. 閉会の辞

専務理事 蓮池 芳 浩

議事録署名人

理 事 長 堀 憲 郎

監 事 長 尾 博 通

#### ④ 第7回理事会

日 時：令和3年2月24日（水）午前11時～同11時30分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館10階会議室

出席者：出席理事数18名、出席監事数2名

（出席した理事）堀 憲郎、蓮池芳浩、小玉 剛、山本美登里

（Web会議により出席した理事）

佐藤 保、川原田哲也、小山茂幸、尾松素樹、福田雅臣、岡野知道、谷 征大、

湯浅 徹、川本 強、武井典子、森田晴夫、住友雅人、山本秀樹、上野尚雄

（Web会議により出席した監事）長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席理事数4名

（欠席した理事）濱田和生、芦谷浩明、鳥山佳則、飯島勝矢

議 長：堀 憲郎（公益財団法人8020推進財団理事長）

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で蓮池専務理事が理事総数22名のうち過半数の18名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号の括弧書きを根拠としたWeb会議で開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保

2. 挨拶 理事長 堀 憲郎  
堀理事長より本財団の現況報告を兼ねた挨拶がなされた。

3. 報告  
議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

##### (1) 会務報告

議長の求めに応じ、蓮池専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①内閣府公益認定等委員会 運営組織及び事業活動状況に関する立入検査実施について、②第6回理事会の開催、③第18回フォーラム8020、④8020運動ポスター、⑤理事長賞の贈呈、⑥国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑦ロゴマークの普及事業、⑧調査研究事業、⑨助成事業（歯科保健助成事業、8020公募研究事業）、⑩後援名義等使用の許可

##### (2) その他

佐藤副理事長より、公募研究課題の見直しについて報告がなされた。

#### 4. 議 事

第1号議案 第19回評議員会の開催について

蓮池専務理事より、第19回評議員会の開催中止及び報告事項の省略について提案がなされ、全員異議なく承認した。

## 第2号議案 令和3年度賛助会費の額

小玉常務理事より、令和3年度の賛助会費の額を令和2年度と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

## 第3号議案 令和3年度事業計画及び収支予算

蓮池専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされた後、小玉常務理事より、令和3年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

令和3年度収支予算はOAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、経常収益計は124,032,000円、経常費用計は124,256,000円、当期経常増減額は△224,000円。経常外増減の部の増減はなし、指定正味財産の増減の部の増減はなし、当期経常増減額は△224,000円、正味財産期末残高は769,275,854円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当金」（但しゼロ円）についての記載もある。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

## 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

小玉常務理事より令和3年4月1日から令和4年3月31日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

令和3年度事業は令和2年度事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

## 5. 協 議

### (1) オーラルフレイルのさらなる認知度アップに向けての対応について

小玉常務理事より、オーラルフレイルのさらなる認知度アップに向けての対応について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

### (2) その他

なし

## 6. 閉会の辞

専務理事 蓮池 芳 浩

議事録署名人

理 事 長 堀 憲 郎

監 事 長 尾 博 通

監 事 平 田 幸 夫

## (2) 評議員会

### ① 第18回評議員会

日 時：令和2年6月19日（金）午前11時～12時

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館1階大会議室

出席者：出席評議員数12名、出席理事数19名、出席監事数2名

（評議員）藤原元幸、松井克之、澤田 隆、甲野峰基、宮口 巖、宮内啓友、渡邊浩次、  
満武 純、岡林一登、鎚溝和子、三橋裕行、安藤 孝

（理 事）堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、蓮池芳浩、小玉 剛、川原田哲也、小山茂幸、  
尾松素樹、福田雅臣、鳥山佳則、芦谷浩明、岡野知道、湯浅 徹、川本 強、  
武井典子、住友雅人、山本秀樹、上野尚雄、山本美登里

（監 事）長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席評議員数8名、欠席理事数3名

（評議員）山崎一男、伊藤正明、齋藤秀子、迫 和子、上谷律子、多田羅浩三、川治久邦、  
杉岡範明

（理 事）飯島勝矢、井上なつき、森田晴夫

議 長：澤田 隆

議事録署名人：満武 純、渡邊浩次

### ○会議の成立

開会に先立ち、蓮池専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨提案され、澤田評議員を議長に選出。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の12名が出席となり、定款第22条「評議員会は評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告の上、開会を宣し、審議に入った。

### ○議長の選出

定款第21条の規定に基づき、澤田評議員を議長に選出したい旨、執行部（蓮池専務理事）より提案があり、了承された。

### ○議事録署名人の選任

定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき満武評議員、渡邊評議員を選任したい旨、執行部（蓮池専務理事）より提案があり、了承された。

## 一 報告

### (1) 会務報告

蓮池専務理事より、会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。

- ①監事会の開催、②第4回理事会の開催、③理事長賞の贈呈、④8020研究事業公募、⑤歯科保健助成事業募集、⑥8020運動ポスター募集、⑦調査研究事業、⑧第18回フォーラム8020、⑨歯科保健事業報告会・公募研究発表会、⑩啓発小冊子の作成、⑪ホームページの充実

### (2) 各所管報告

## 二 決議事項

### 第1号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任の件

蓮池専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、井上なつき理事の辞任に伴い後任理事として谷征大氏を選任する旨、提案がなされた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

なお、任期は定款第30条第1項「選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定及び同条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。」の規定により令和3年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

### 第2号議案 令和元年度事業報告及び収支決算の件

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を得たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定により、令和元年度事業報告について蓮池専務理事より資料に基づいて説明がなされた。

引き続き、令和元年度収支決算については、小玉常務理事より資料に基づいて貸借対照表、正味財産計算書、附属明細書、財産目録について説明がなされ、議長が長尾常務監事に監査報告を求めたところ、長尾常務監事からは監査報告書に記載したとおりである旨の報告が行われた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

## 三 協議事項

### 第18回フォーラム8020について

蓮池専務理事より説明がなされた後、今後の取り組みについて協議が行われた。

以上をもって本日の議事をすべて終了したので、議長は閉会を宣した。

### 議事録署名人

議長	澤田	隆
評議員	満武	純
評議員	渡邊	浩次

## ② 第19回評議員会（書面による報告）

評議員会へ報告すべき事項についての通知を行い、当該報告事項について、評議員全員から書面による同意の意思表示を得た。

### 1. 評議員会への報告があったものとみなされた事項の内容

- (1) 会務報告 [令和2年度の事業実施報告]
- (2) 令和3年度賛助会費の額
- (3) 令和3年度事業計画及び収支予算
- (4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

2. 評議員会への報告があったものとみなされた日  
令和3年3月19日

3. 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名  
理事長 堀 憲郎

### (3) 委員会等

令和2年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

- ① ロゴマーク使用許可審査委員会  
書面審査 令和2年5月15日 サンスター株式会社  
書面審査 令和2年5月15日 パナソニック株式会社  
書面審査 令和2年6月10日 サンスター株式会社  
書面審査 令和2年8月20日 サンスター株式会社  
書面審査 令和2年8月28日 パナソニック株式会社  
書面審査 令和2年10月5日 サンスター株式会社  
書面審査 令和3年1月8日 サンスター株式会社  
書面審査 令和3年2月8日 サンスター株式会社  
書面審査 令和3年2月24日 サンスター株式会社
- ② 会誌編集委員会  
第2回委員会 令和2年6月30日
- ③ 広報委員会  
第2回委員会 令和2年9月30日
- ④ 地域保健活動推進委員会  
第2回委員会 令和2年9月2日
- ⑤ 8020調査研究委員会  
第2回委員会 令和2年9月23日
- ⑥ 8020運動ポスター審査会  
令和2年度審査会 令和2年12月8日

## 9. 事業活動

### (1) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、国民が日常生活で役立つ歯と口の健康情報と歯科関係者を通じて役立つ専門的な情報や本財団の事業報告などを盛り込んだ構成として年1回作成している。

本年度は、「お口の細菌が健康に影響する！」をテーマに令和3年3月に第20号を発刊し、賛助会員をはじめ関係方面に配付するとともに、財団ホームページに掲載した。

また、8020普及啓発のツールとして、国民の方向けページを別冊として作成し、教育機関・報道関係などにも広く配布し周知する。

### (2) 国民向け啓発小冊子の作成、配布

8020達成を目指し、日常生活で役立つ歯と口の健康情報を広く一般に周知するため、啓発小冊子を作成し、行政・保健所・教育委員会・関係団体等を通じて広く配布している。

企画・制作は嘱託が行い、様々な切り口で各世代におけるポイントやあらゆる場面に関するテーマを取り上げている。

- ① お口は万病の元～全身に影響を及ぼすお口の健康を考えよう～  
 全世代向けの小冊子として、歯周病やむし歯が全身の健康に影響することをテーマに、その仕組みやケア方法等をまとめ発行した。本小冊子は一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて作成し、令和3年2月に15万部を関係各所へ送付するとともに、財団ホームページに掲載した。
- ② 8020読本・人生100年時代の8020～高齢者の栄養管理～  
 シニア向け啓発小冊子として、高齢者のお口の特徴や低栄養を防ぐためのポイント等をまとめ発行し、関係各所へ送付するとともに、財団ホームページに掲載した。

### (3) 第18回フォーラム8020の開催

8020推進財団設立20周年記念フォーラムとして、「フォーカス！感染予防～未来歯科医療の幕開け～」をテーマに令和2年12月5日（土）開催した。

歯科医師会館での開催を予定していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、財団ホームページおよびYouTubeチャンネルに講演・ディスカッションの映像を掲載し、歯科関係者のみならず、国民にも広く周知した。また、会誌「8020」第20号にも同フォーラムの特集記事を掲載し、巻末には講演・ディスカッションの映像を収録したDVDを同封した。

#### <開催概要>

テーマ「フォーカス！感染予防～未来歯科医療の幕開け～」

○挨拶：公益財団法人8020推進財団 理事長 堀 憲郎

○特別講演「ゲノム編集が切り拓く新たな時代」

講師：宮岡佑一郎氏（公益財団法人東京都医学総合研究所  
 再生医療プロジェクト プロジェクトリーダー）

○講演1「心臓や脳血管を攻撃するミュータンスレンサ球菌」

講師：仲野和彦氏（大阪大学大学院歯学研究科 口腔科学専攻  
 口腔分子感染制御学講座 小児歯科学 教授）

○講演2「ウイルスと細菌の重感染機構」

講師：川端重忠氏（大阪大学大学院歯学研究科口腔科学専攻  
 口腔分子感染制御学講座 口腔細菌学 教授）

○講演3「細菌叢解析からみたデンタルプラークの生態」

講師：石原和幸氏（東京歯科大学 微生物学講座 教授）

○講演4「歯科医療の未来図と8020運動」

講師：天野敦雄氏（大阪大学大学院歯学研究科 口腔科学専攻  
 口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学 教授）

○ディスカッション「フォーカス！感染予防 ～未来歯科医療の幕開け～」

パネリスト：仲野和彦氏、川端重忠氏、石原和幸氏、天野敦雄氏

コーディネーター：蓮池芳浩専務理事

### (4) 8020運動ポスターの募集

本財団では、ポスター作品の制作を通じて、国民の8020運動や歯の健康に対する認知・理解をより一層高めることを目的に「8020運動ポスター」の募集を行っている。

令和2年度は4月1日から9月30日までに121作品の応募があり、法政大学建築デザイン学科兼任講師・栗原良彰氏、東京学芸大学名誉教授・増田金吾氏、東京藝術大学美術学部特任

准教授の伊藤達矢氏の3名の専門委員による審査の結果、12名の作品を選出した。

なお、優秀作品は会誌8020ならびにホームページに掲載し、8020運動の周知を行った。

＜最優秀賞(1名)＞ 平出 龍ジュリア

＜優 秀 賞(3名)＞ 石橋 史果、中出 こゆき、村形 胡衣子

＜入 選(8名)＞ 生田目 智輝、奥山 航生、阿部 聖羅、渡辺 碧、  
青木 亮太、市村 莉子、水澤 彩夏、下野 心子

#### (5) 8020推進財団理事長賞の贈呈

歯の維持がその後の健康との関わりを含め、人生に大きく影響することの重要性を8020達成者の表彰を通して社会に提言、理解を促進することを目的に、8020達成者に対して8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者は各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請され、都道府県歯科医師会が行っている事業にて表彰を行っている。

令和2年度は、岩手県、栃木県、東京都、静岡県、愛知県、三重県、富山県、石川県、大阪府、広島県、島根県、徳島県、香川県、福岡県、熊本県、宮崎県の16都府県より申請がなされ、賞状を授与した。

#### (6) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

噛むことの大切さを伝え、口腔機能についての普及啓発を進めることを目的とした8020普及啓発事業を「噛むカムチェックガム」を用いて行った。本事業は都道府県歯科医師会の協力のもと実施し、都道府県・郡市区歯科医師会の様々な事業を通じて実施し、事後評価・情報収集も行った。今年度は都道府県歯科医師会を通じて噛むカムチェックガム10万個を配布した。

#### (7) ロゴマークの普及

令和2年度は、賛助会員である企業より申請されたロゴマーク使用許可について、ロゴマーク使用許可審査委員会において10件の審査を実施し、使用許可を通知した。

#### (8) 歯科保健事業報告会・公募研究発表会の開催

本財団では歯科医師会はじめ公益法人、NPO法人、公共機関等に対する歯科保健活動事業に対する助成事業、ならびに8020運動に資する研究について、8020研究事業の発展を推進するため研究課題の公募事業を行っており、同事業において採択された事業・研究課題の報告の中から、年度ごとに広く周知したいものを取り上げ、報告会・発表会を開催している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、本年度はホームページ上での開催とし、平成30年度歯科保健活動推進事業および平成30年度公募研究事業より各3題を選定して、令和2年9月23日付で財団ホームページに掲載した。

##### ○プログラム

##### ① 歯科保健事業 (平成30年度報告より)

東京都文京区における8020達成者の追跡調査 (実施団体：一般社団法人東京都文京区歯科医師会)
障がい者施設、特別支援学校を中心とした摂食・嚥下調査及び指導 (実施団体：一般社団法人市川市歯科医師会)
緩和医療における歯科医療従事者の育成事業 (実施団体：一般社団法人神奈川県歯科医師会)

※平成30年度報告書提出当時の団体名で記載

## ② 公募研究事業（平成30年度報告より）

地域で生活する高齢者のオーラルフレイルに関連する要因 - 栄養と歯科口腔機能の向上が高齢者の身体的フレイルに与える影響の検討 - (研究者：島根県立大学 教授 佐藤公子)
高齢者の転倒リスクに寄与する口腔因子の検索 -四肢の筋・骨と口腔機能との関連性- (研究者：新潟大学大学院 医歯学総合研究所 包括歯科補綴学分野 講師 長谷川陽子)
8020と長寿について、口腔細菌叢と腸内細菌叢に関する研究 - 京丹後長寿コホート研究における医科歯科連携 - (研究者：京都府立医科大学附属病院（歯科） 歯科診療副部長・講師 山本俊郎)

※平成30年度報告書提出当時の所属で記載

## (9) 後援等名義使用の許可

令和2年度は以下の関係団体より依頼を受け、後援名義の貸与を了承した。

- ・全国生活習慣病予防月間2021（申請日：令和2年10月19日）  
主 催：一般社団法人日本生活習慣病予防協会
- ・市民セミナーin さかえ「“歯ならびと健康” - 子どもたちの未来のために-」  
(申請日：令和3年1月29日)  
主催：公益社団法人日本臨床矯正歯科医会 神奈川支部

## (10) ホームページの整備

本財団の主な活動である「8020運動」のさらなる周知・啓発、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報を広く国民・社会に提供するため、ホームページの整備・充実を進めている。

## (11) 8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第11弾）

令和2年11月20日から令和3年2月28日まで、本財団のホームページにおいて、一般国民を対象とした8020運動等に関するアンケートを実施し、6,000件を超える多数の回答を得た。アンケート参加者には、抽選で100名に本財団発行の啓発小冊子とライオン株式会社の協力による賞品をプレゼントした。

またアンケートからは、「8020運動」の認知度は75.5%、本財団ホームページの閲覧目的は「歯やお口についてのマメ知識」が53.8%、「口腔健康管理」が46.8%等の調査結果が得られた。

## (12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ

平成23年8月10日に歯科口腔保健法が公布され、都道府県における「歯科保健条例」の制定状況を本財団ホームページ内のマップにまとめ、国民に周知している。令和3年3月末現在、45道府県で制定されている。

## (13) 調査研究事業

8020運動や歯科、口腔の健康と全身の健康の関連等について、調査・研究を実施している。

### ① 第2回永久歯の抜歯原因調査の特別集計解析

「第2回永久歯の抜歯原因調査（平成30年11月）」のデータを特別集計し、多要因分析を含め新たな解析を行って論文をとりまとめた。現在、海外学術誌への投稿に向けて調整している。

## ② 事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究

令和2年7月20日(月)・21日(火)に仙台、10月27日(火)・28日(水)に東京において唾液検査試験紙による歯周病リスク判定と術者磨きによる指導を中心とした歯科健診を実施。健診結果等について集計・分析し、令和3年3月末に報告書を取りまとめるとともにホームページに掲載した。

## ③ 職域などにおける歯科口腔保健のエビデンス収集

職域における歯科保健サービスの円滑な推進に資する基礎資料として文献収集を行い、報告書のとりまとめに向けて、令和3年2月9日(火)に第1回会議、同3月4日(木)に第2回会議を開催した。令和3年3月末に報告書「職域等で活用するための歯科口腔保健推進の手引き」を取りまとめ、ホームページに掲載した。

## ④ 保険者における歯科の取り組みに関する調査

令和2年9月23日(水)および12月15日(火)に健康保険組合連合会を訪問し、同会が実施する調査について、意見交換を実施した。

なお、平成26年度より実施してきた「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」について、事業開始から令和元年度までの最終報告書が調査事業検討会より令和2年11月に提出され、財団ホームページに掲載した。

## (14) 助成事業

### ① 令和2年度8020公募研究事業

9月23日(水)8020調査研究委員会を開催し、7月31日の締切りまでに応募のあった58題の公募研究申請について審査を行い、理事会を経て下記の16題の採択を決定した。研究課題と申請者等は下表のとおり。

#### <公募研究課題>

1. 歯科口腔保健に関する疫学研究
2. 8020と全身の健康(生活習慣病、フレイル、認知症、ADL、QOL等)に関する研究
3. 介護・医療(終末期医療を含む)等に関する研究
4. 小児・高齢者の口腔機能(摂食・嚥下機能を含む)及び口腔ケア等に関する研究
5. オーラルヘルスプロモーション及び歯の喪失防止に関する研究
6. 自由研究課題

申請者	所属	職名	研究課題
栗田 浩	国立大学法人 信州大学 医学部 歯科口腔外科学教室	教授	特定健診問診結果と歯科健診結果および歯科受診行動との関連
古賀 陽子	東京女子医科大学 歯科口腔外科学 講座 口腔顎顔面外科学分野	教授	歯科口腔外科従事者・患者における SARS-CoV-2 抗原・抗体保有率の多施設疫学調査
山本 俊郎	京都府公立大学法人京都府立医科 大学附属病院(歯科)	歯科診療副 部長・講師	8020と健康長寿、京丹後長寿コホート研究での 口腔内フローラの探索
水谷 慎介	九州大学大学院歯学研究院附属 OBT 研究センター	准教授	地域在住高齢者の口腔機能向上プログラムと フレイル改善率に関する介入研究
岡本 俊宏	東京女子医科大学医学部歯科 口腔外科	教授	睡眠時無呼吸症候群患者における口腔機能低下症 と口腔機能訓練の有効性について

永吉 真子	名古屋大学大学院医系研究科 (予防医学)	特任助教	高齢者の口腔機能と施設入所・死亡との関係に関する地域疫学研究 一日常の生活環境と習慣(人とのつながり・発声頻度・咀嚼)は予後に影響を与えるかー
井上 誠	新潟大学(医歯学系)	教授	回復期における口腔・嚥下機能評価およびその管理の影響
新庄 尊徳	九州大学大学院歯学研究科口腔機能修復学講座歯周病学分野	助教	歯周病と糖尿病性腎症の関連性についての疫学パイロットスタディ
長谷川陽子	新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野	講師	引きこもり予防に口腔機能維持は寄与するのか
窪木 拓男	岡山大学大学院 インプラント再生補綴学分野	教授	インプラント治療は高齢者の残存歯を守り QOLを高めるか?
鈴木 啓之	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	特任助教	多職種連携医療における遠隔口腔ケアシステム確立に向けた基礎研究
原 豪志	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 老化制御学講座 接触嚥下リハビリテーション学分野	特任助教・医局長	摂食嚥下障害に対するオンライン診療の有用性についての研究
小原 由紀	公益社団法人日本歯科衛生士会	理事	通いの場に参加する高齢者におけるオーラルフレイルの実態と歯科介入ニーズの把握に関する調査研究
熊谷 美保	岩手医科大学歯学部口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野	准教授	障害者施設での嚥下スクリーニングを視野に入れた非侵襲的嚥下評価システムの開発
山口 聡	名古屋大学医学部付属病院 歯科口腔外科	助教	造血幹細胞移植後の敗血症発症におよぼす口腔内管理の効果についての観察的研究
二階堂 徹	朝日大学歯学部	教授	フッ化ジアンミン銀の黒変を指標とした根面う蝕治療の臨床的評価

## ② 令和2年度歯科保健活動事業への助成交付

9月2日(水)8020地域保健活動推進委員会を開催し、6月30日の締切りまでに応募のあった28題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、理事会を経て下記の25題を採択し、各事業に対して助成交付を行った。事業名と申請団体名は以下のとおり。

申請団体	事業	実施組織
一般社団法人 岩手県歯科医師会	「歯科診療所における新型コロナウイルス感染症対応調査システム」構築事業	一般社団法人岩手県歯科医師会
一般社団法人 宮城県歯科医師会	みやぎヘルスサテライトステーションを活用した口腔機能評価と口腔衛生指導	一般社団法人宮城県歯科医師会
一般社団法人 埼玉県歯科医師会	ICT (Information and Communication Technology) を用いた摂食嚥下リハビリテーションの遠隔診療システムの構築	一般社団法人埼玉県歯科医師会、東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、医療法人静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター
公益社団法人 東京都歯科医師会	子どもの虐待防止啓発事業	公益社団法人東京都歯科医師会 母子保健医療常任委員会

一般社団法人 長野県歯科医師会	こども8020推進員育成事業	一般社団法人長野県歯科医師会
一般社団法人 新潟県歯科医師会	NPOとの協働による住民参加型歯科保健推進事業(は～もに～プロジェクト)―事業紹介パンフレットおよび事業の事例・実施マニュアル冊子の作成―	新潟県歯科医師会が事業主体となり、NPO法人まちづくり学校、新潟県福祉保健部、新潟市保健所、新潟大学、自治会等を加えた企画運営組織(通称:「は～もに～プロジェクト」)を形成し、事業を実施してきた。
一般社団法人 静岡県歯科医師会	特別支援学校の口腔健康管理に関する事業	一般社団法人 静岡県歯科医師会、静岡県健康福祉部 健康局 健康増進課、静岡県教育委員会
一般社団法人 愛知県歯科医師会	歯の博物館 ～歯と口の健康ミュージアム～ 来館者への啓発・情報発信事業	一般社団法人愛知県歯科医師会
一般社団法人 奈良県歯科医師会	終末期において歯科医療職がターミナルケアに関わるための啓発用ツール作成事業	一般社団法人奈良県歯科医師会 高齢者歯科保健委員会
一般社団法人 島根県歯科医師会	県民の糖尿病重症度と残存歯数、歯周病重症度、食のQOL関連調査事業	一般社団法人島根県歯科医師会
公益社団法人 香川県歯科医師会	歯薬連携強化によるかかりつけ歯科医機能の充実を目的とした連携ネットワーク推進のためのパイロット事業(1)	公益社団法人香川県歯科医師会、徳島大学歯学部予防歯科学分野、まんのう町国保造田歯科診療所
一般社団法人 会津若松歯科医師会	医科歯科連携の事業	一般社団法人会津若松歯科医師会
一般社団法人 八千代市歯科医師会	咀嚼能力の維持・向上を期待した簡易的なトレーニング(ガム噛みトレーニング)普及事業	一般社団法人八千代市歯科医師会、東京医科歯科大学高齢者歯科学分野、八千代市(後援)
公益社団法人 東京都向島 歯科医師会	・生涯を通じた歯科健診・保健事業 ・咀嚼の効用に関連したテーマに関する事業	公益社団法人東京都向島歯科医師会、高齢者支援総合センター
公益社団法人 東京都北歯科医師会	イクメン健診事業	公益社団法人東京都北歯科医師会
公益社団法人 東京都町田市 歯科医師会	高齢者歯科口腔機能健診及び舌圧測定器貸出事業	公益社団法人東京都町田市歯科医師会
一般社団法人 東京都東久留米市 歯科医師会	東久留米市歯科医師会歯科保健普及啓発事業 1. 親と子の歯っぴーライフ 2. 歯と歯ぐきの市民健康フェスタ	主催:一般社団法人東久留米市歯科医師会 共催:東久留米市 協力、後援依頼:公益社団法人東京都歯科衛生士会
一般社団法人 東京都立川市歯科医師会	障害者施設歯科健診及び障害者歯科診療所開設事業	一般社団法人東京都立川市歯科医師会
一般社団法人 横浜市歯科医師会	横浜市における障害児者の歯科診療の実態調査	一般社団法人横浜市歯科医師会、横浜市歯科保健医療センター

公益社団法人 長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの実施	公益社団法人長野市歯科医師会
公益社団法人 高松市歯科医師会	病院入院患者を対象とする口腔ケア活動事業	公益社団法人高松市歯科医師会 地域保健Ⅲ部会、訪問歯科診療研究会
一般社団法人 福岡市歯科医師会	地域密着8020推進事業（口腔機能低下症）	一般社団法人福岡市歯科医師会
一般社団法人 佐世保市歯科医師会	佐世保市におけるオーラルフレイル啓発に向けての研修会 専門職に向けて	口から食べる楽しみを支援する協議会（代表：佐世保市歯科医師会会長） 参加団体：佐世保市歯科医師会、佐世保市医師会、佐世保市、佐世保市薬剤師会、佐世保市介護支援専門員連絡協議会、長崎県栄養士会佐世保支部、長崎県歯科衛生士会佐世保支部、訪問看護ステーション県北部ブロック、社会医療法人白十字会
名古屋市 学校歯科医会	DVD「歯肉があぶない」（仮）作製	名古屋市学校歯科医会
石巻圏 摂食嚥下研究会	石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪	2015年に本研究会を医療関係の有志で立ち上げ、現在、歯科医師2名、歯科衛生士1名、薬剤師1名、管理栄養士1名、看護師1名、言語聴覚士4名の役員で運営している。石巻歯科医師会と石巻圏摂食嚥下研究会、石巻赤十字病院肺炎ネットワークの3団体で連携を図りながら事業を実施している。

### ③ 調査・研究の報告書作成

令和元年度8020公募研究及び令和元年度歯科保健活動助成事業の成果をまとめた報告書をそれぞれ作成し、令和2年11月に賛助会員並びに関係方面に配付した。また、両報告書抄録をホームページに掲載し、周知した。

#### (15) 会員レターの発行

本財団の活動報告をまとめた会員レターを年2回発行し、賛助会員や各方面に配布・報告している。本年度は8月に第28号、3月に第29号を発行した。

#### (16) 賛助会員証の発行

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。